

☆キラリ☆ 教育活動に創意工夫を！

小中学校問わず、どの学校でも行われている教育活動があります。「キラリ」のコーナーでは、それらをテーマとして、創意工夫のある取組や効果的な取組をしていらっしゃる学校を紹介します。

第2回のテーマは「掃除」で、嬉野市立嬉野中学校の取組を紹介します。

【嬉野中学校の掃除指導から見える2つのポイント】

1 掃除の目的はシンプル「きれいにする」

教師は生徒に無言で掃除をさせることを求めがち。しかし、掃除とは本来きれいにする活動である。きれいにしようとするれば一生懸命になり、結果的に静かに掃除をする。決して逆ではない。

2 まずは教師から。そして生徒へ。

- ① 教師全員が掃除の仕方や手順を理解する。
- ② 担任が、学級の生徒全員に掃除の仕方や手順を理解させる。
- ③ 掃除の時間は生徒だけでなく教師も掃除をする。

嬉野中学校『掃除』

～きれいにする～

年度当初、教師全員が掃除の仕方や手順を理解する。

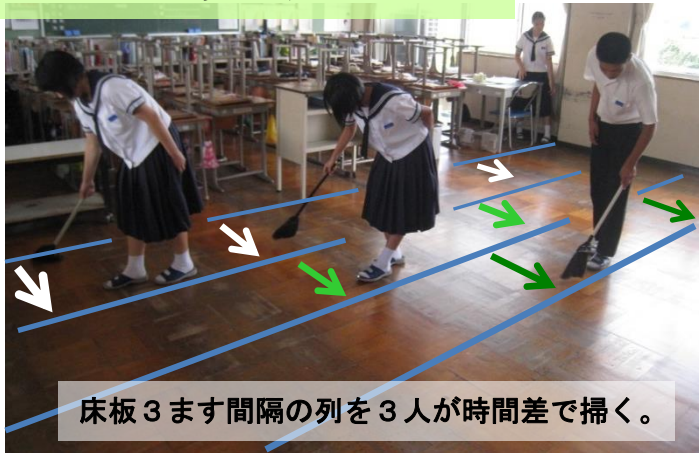
4月、最初は担任が学級の生徒全員に掃除の仕方や手順を理解させる。掃除の時間に、1日に1つの場所の掃除の仕方や手順を教える。6か所を6日間（学級が7か所担当していたら7日間）かけて掃除の仕方や手順を理解させる。

生徒が掃除をしない理由に、掃除の仕方や手順を理解していないことがあります。また、それ以前に教師が掃除の仕方や手順を理解していないことも考えられます。そのため、掃除指導は、まず教師全員が掃除の仕方や手順を理解することから始めます！



その後の6週間、担任は学級が担当する掃除場所をまわり、掃除をしながら指導する（指導週間）。

現在



床板3ます間隔の列を3人が時間差で掃く。



さすがなくても大丈夫。掃除の仕方や手順を理解し、実践！



☆☆☆無言で掃除☆☆☆

《トイレ清掃の仕方について》

しっかり掃除をして、気持ちよく使えるようにしましょう。

- ① トイレスリッパとマットを上げて、ほうきで掃く。
- ② ブラシを使って便器を磨く。
- ③ **バケツの水で雑巾を使い、便器の周りや床を拭く。**
☆ 週末や大掃除など時間があるときのみ、床に水を流してデッキブラシで磨く。
- ④ 手洗い場を磨く。排水溝もブラシを使い、ていねいに洗う。(床も)
- ⑤ ゴミの処理、石けんやトイレットペーパーの補充をする。
- ⑥ 掃除用具の後片付けをする。



☆ゴム手袋は両手あわせて洗濯/サミで止める。

★トイレ掃除用の雑巾が無い場合は、担当クラスで補充する。

掃除を充実させようと環境美化委員会が作ったマニュアル



誰も見ていなくても黙々と掃除



教師も共に掃除



生徒玄関の外履きの場所も雑巾がけ



生徒にインタビュー

- ・ 雑巾で拭くのではなく磨く。ただ掃くのではなく小さなゴミまで残さないように掃く。掃除を通して小さなことでも気が付くようになりました。
- ・ 自分たちの学校を自分たちが掃除をするのは当たり前。精神的な面が育っていると思います。
- ・ 掃除以外に、靴をきれいにならべること、2分前行動は、先生に言われることなく自分たちでしています。
- ・ 入学したときはレベルが違うと思いました。でも、2、3週間で慣れました。

取材は2度(延べ4名で)行い、いろいろな掃除場所を見せていただきました。体育大会前で、午前中に練習等があり生徒は疲れていたと思いますが、手順通りに無言で掃除をしていました。「きれいにする」を目指す取組が生徒に浸透し、一生懸命に掃除をしていることが、結果的に掃除時間の静かさにつながっているようです。インタビューに協力してくれた生徒達は「拭くのではなく磨く。」や「当たり前のことをしている。」といった内容を一様に話してくれました。掃除に対する意識の高さやそれが普通となっている様子はよき校風となり、それを誇りに感じている生徒もたくさんいるのではないかと思います。それでも、嬉野中学校としてはまだやらされている感じが生徒から伝わるそうです。「まだまだ」とおっしゃる先生に志の高さを感じました。また、生徒指導主事の古賀先生は「1日を通して生徒が成長できる取組を教師全員で共通実践する。掃除の指導はその一つに過ぎない。」とおっしゃいました。生徒へのインタビューにもそれが分かる言葉がありました。

生徒ができない(しない)理由を考え、それを改善させるべく教師全員で取り組む嬉野中学校の姿勢がキラリと光っていました。是非参考にしてください。

嬉野中学校の皆様、ご協力ありがとうございました。

